

令和4年度 西砂学習館運営協議会（令和4年8月）会議録

日 時：令和4年9月8日（木）午後6時00分～午後8時45分 （敬称略）

出 席：大槌 加藤 内金崎 小笠原 岩元 能村 小林 森 広瀬

欠 席：長谷川 増田

事務局：石川 田中 俣本

1 開会のあいさつ

大槌：今年度のサマーイベントは6日間12講座の実施。委員、ボランティア、職員、地域の方からの支援等ありがたかった。毎年定例として実施できているのは、地域の理解があつてこそ。このエリアの住民意識の高さは誇って良いと思っている。無事に終わり本当に良かった。西砂地域の戦時パネルも西砂学習館2階廊下に掲示している。啓発に繋がれば良い。

2 令和4年度地域活性化講座について

（1）「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」について

- ・ご協力ありがとうございました。

- ・参加人数等（6日間延べ人数 合計）

- 【午前中】参加者：137人、スタッフ59人

- 【午 後】参加者：152人（コンサート参加の保護者を含む）、スタッフ65人

- ・支払原資（青少年健全育成西砂川地区委員会からの寄附、公費消耗品費等）

- 35,542円

- ・食材費支払い

- 28,425円 残金 7,117円

- ・寄附

- お米 19.5kg パスタ乾麺 5.1kg ツナ缶 24缶 冷凍ミートボール 1kg

- ベーコン 500g 海藻サラダ 8袋 ゼリー（10個入り）12袋

- 野菜（西砂産直会・参加者） 調味料（ウエイパー、醤油、バニラエッセンス 他）

- ・委員感想

石川：今年は最多の開催日数。午前午後の講座もしっかりと行った。開催にあたり当初予算の子ども対象事業予算の他に追加で5万円確保できたことで午後の講師謝礼もお支払いができた。アンケートと会長作成の報告書は回覧する。今年はお米の寄附が多かった。賞味期限もあるので残りはフードパントリーに寄附したい。パスタもかなり頂いた。残っている2キロ分は来年のサマーイベントで使用する予定。

小林：皆が大変な思いで動いてくれた。高校生の西村さんはやることは綺麗で忠実。すごく関心をした。他のボランティアの方々もおしゃべりもせずに、お手伝いをして頂いた。時間内に終わることができて感謝している。来年も続くことを願っている。

大槌：片付けは大変だった。食器は使い捨て容器を使ったことは良かった。ボランティアの西村さんは何日もお手伝いをして頂いた。とても良い青年だった。

小笠原：7月は西砂小の子ども達がかなりの人数参加。8月30日もそれなりに来てくれた。

内容について、ピアノ演奏者の治田と話し合いをしながら組み立てた。何か少しでも伝われば良いと思い歌った。7/26 は時間を短くした分、「あれ終わり？」と感じた子どももいたので、2 回目は内容を変更した。工作は子ども達のアイディアに関心。

大橋：子ども達に思いは十分伝わったと思う。素晴らしい企画だった。

加藤：2 年間昼食の提供を中止にしていたが再開ができて良かった。サマーイベントは大きなイベントとして定着し、他館のお手伝いがあった。各学習館もやると良いよねと話していた。地域の難しさもあるが、良さを感じてくれたと思う。

広瀬：今まで何回も行っているが、今年は会長、学習館がよく動いてくれた。小笠原委員のコンサートは素晴らしく、2 回とも泣いた。地元の人達にも助けて頂いた。西砂学習館を利用しているリコーダーの団体はここでの活動が長いので、来年サマーイベントでの演奏をお願いしたらどうか。

内金崎：小笠原委員のコンサートと読み聞かせに参加。素晴らしい歌声を聞いた。子ども達も真剣に聞いていた。戦争について何かしら感じたと思う。夏の間の子ども達の居場所について、定員を超える申込状況を見ると、必要性、子ども達が求めているのだと感じさせられた。週 1 開催だが西砂で良い社会経験、学びの場になるのかと思った。

岩元：小笠原委員のコンサートは感激をした。気になったのは、西砂小の保護者から申込が直ぐに定員になり入れなかったと声があった。市外からの参加も何名かいたので、できれば立川市の事業なので、立川市の子どもに限り受け付けるとするのは必要と思った。サマーイベントは保護者にとってもありがたい場所になっている。

森：食器の片づけがすごく楽だった。少ないスタッフでも時間内にできて良かった。お手伝いの方の支援が助かった。残飯については、食べる量を配膳したので残飯が少なかった。食材は、メニューを考えて用意をしているが、余分に用意していると感じた。予想以上に子ども達の食べる量が少ない。来年以降改善が必要。急遽おにぎりを作った日もあった。残った食事をおやつに回せることも食材を生かせることで良い。

大橋：食器は次回も使い捨て容器を考える。食材は数量をデータとして残しておきたい。

能村：初めて参加。8/9 の電卓では参加者が女の子ばかりで驚いた。なかなかできない低学年の子どももいた。学年差があるプログラムは難しいと感じた。午後の勉強ではボランティアの学生が熱心に教えていて関心をした。

田中：全体的には素晴らしかった。気が付いた点、改善したい点がいくつかある。申し込みについて。受付は電話でしたが、電話が繋がらない為、窓口で直接来る保護者がいた。電話もひっきりなしに鳴っていた。窓口でも受けるなら最初から直接来たと電話口で怒る方もいた。今回は 6 日間午前午後の 12 講座分の受付だったので、申し込みも非常に複雑だった。また、お友達の分で 1 度に 3 家族の申し込みをする方もいた。その場合、公平性の面で問題と思った。毎回参加している子どももいるが、1 部の子どもが毎週参加していて、多数の新しく参加したい子どもの参加が難しくなっていた。なので、3 回までの参加にするとか、回数の制限、抽選申込をする等の検討が必要と感じた。調理について。調理は、相当のスタッフが必要と思った。以前までのサマーイベントとの違いは、食数が 2 倍になっている。もの凄く忙しかった。調理を担当したメンバーで、腰を痛めたスタッフ、手を怪我したスタッフもいた。講座が主体かもしれないが、安全に時間内に食事を用意するには、人手が必要なのは調理と思った。また、調理時だけでなく、午後の片付けの手伝いも人手が必要だった。片付けだけで

午後3時までかかった時もあり、午後のイベントを見ることもできない日もあった。ボランティアの方で本来は学習支援に入る予定だったが、片付けが終わらず入れない日もあった。食器については、以前の通りにしていたらとんでもない時間がかかったと思う。午後の講座のお手伝いは、調理の方にも来てほしいと感じた。ここを来年度に向けて改善できたら良い。センターからお手伝いで職員が来たが、午後の講座のお手伝いより、まず片付けにはいった方が良かったと思った。

1階の和室の利用について。子ども達を楽しませるという意味では良いが、子どもが興奮して1階から2階、ロビーを走り回っていた。和室の障子、机も壊されてしまった。楽しむことは良いが、この施設は図書館と連絡所もある。子どもたちも本来は講座、学習が目的なので、節度を持たせるのは大事。視聴覚室、第1教室、第1和室の3部屋を使い分ける必要はあるのかと個人的には思った。7/26と8/30の講座は、コンビで何度も講座をしている大根田さんが来てくれた。初回は時間を押してしまった。今回は25名の参加者で行ったが2時間の講座で受け入れる人数は15名が目安。小笠原委員のコンサートが一番感動をした。

大橋：いくつか課題がでた。裏事情が分からなかった。どこかで時間をとり話したい。視聴覚室での食事の為の机の移動や飛沫防止用パネル設置はコロナ禍でなければあそこまでしていない。来年はこの辺が良くなるかもしれない。

広瀬：視聴覚室の机の配置はよく考えてくれた。

(2)「地域の再発見・地元を学ぼう！玉川上水の謎」

・8/28(日)座学の報告/参加人数：31名 スタッフ：8名

・10/9(日)の集合時間・出欠等について

【集合場所と時間】

集合場所・時間：西砂学習館1階ロビー 午前9時10分

※ 豊泉先生を8:45にお迎えに行き、皆様と一緒に庁用車で羽村駅に行きます。

【持ち物】お昼ご飯・飲み物 ※ 玉川兄弟像近くで昼食を取ります。

【参加予定の委員】 大橋 加藤 岩元 加藤 広瀬

・10/30(日)の集合時間・出欠等について

【集合場所と時間】

集合場所：玉川上水駅 南口 階段・エスカレーターを下りたところ

集合時間：午後1時15分(参加者の集合時間は、1時30分)

【持ち物】飲み物

【参加予定の委員】大橋 内金崎 能村 加藤

石川：座学が8月28日に終了。次は10月9日に散策をする。委員の旅費がないので、集合場所の羽村駅までは車で送迎をする。

大橋：「玉川上水の謎」が資料に5～6点書いてある。良くまとめられている資料。立川を語れる人が少なくなってきたので、きちんと記録に残し、意図的に講座を開き資料を集めなくてはと思った。

(3) 「にしすな親子塾〈第6弾〉」

・7/20の運営協議会で決まった内容

⇒ 11/20(日)又は11/27(日)日中の時間帯

内容は、「おやこのための読み聞かせ」(3/4歳のリベンジ)

⇒ 講師は、たんぼぼ読書会でよろしいでしょうか?

☆ 広報たちかわ10/25号の締め切りは9/8(木)

石川: 講師は「たんぼぼ読書会」で良いか。会場は児童館での開催は可能か。

小笠原: 午後2時半以降は子どもの利用が増えるので、午後1時から2時45分までの開催なら可能。開催は11月27日が良い。

大橋: サマーイベントでは1時間の内容だったので、その時間内で実施は可能。保護者向け講座は西砂独自で取り上げている。

(4) 「西砂川での災害を考える」

・7/20の運営協議会で決まった内容

⇒ 講師の都合を聞いた上で11月の日程とする

部屋の予約の都合で、11/19(土)又は11/26(土)の夜間

西砂川自治会の関係者にお声がけをして、一般の参加者は無

よって、「広報たちかわ」や「ホームページ」には掲載しない。

⇒ 講師は、立防災の方をお願いしてよろしいでしょうか?

石川: 11月19日か11月26日の夜間で実施したい。参加は自治会関係者に限定。

小笠原: 松中小で12月4日に防災訓練があるので、実施日は11月19日が良いと思う。

加藤: 前は自治会の会合で休みの方もいた。

大橋: 自治会の防災担当の方が防災達人テストのノウハウを学べる内容にしたい。

能村: 会長だけでなく役員が何人か参加できるならそれが良い。

加藤: 一昨年までの防災講座は各自治会からの参加は殆ど無かった。防災担当を対象に去年から企画をしている。

岩元: コロナも落ち着き自治会でも防災研修を工夫して実施しているところもある。もし自治会の防災担当者が集まったら、情報交換の時間も設けて頂けると、講師からお話を聞くだけでなく更に良い。

大橋: 広瀬委員からも同じお話があった。地域同士が知り合い、情報共有も大事。

広瀬: 実際に災害になったら、皆で一緒にやるので、多少顔が分っている方が良い。前は思ったほど参加者が少なかった。今度はもう少し集まってほしい。

能村: 開催日時が決まったら早めに各自治会にお知らせが必要。自治連の西砂支部長は知り合いなので、直接伝えられる。

広瀬: 自治連とはどのような関係になっているのか。

石川: 今まで一般向けで開催していた防災講座を、会長もしくは防災担当者限定に開催と、会長とご挨拶をしてお願いをしている。今度は自治連会長に去年に引き続き実施する旨と主旨をお話するだけで大丈夫かと思う。西砂川地区の役員は毎年変わると聞いている。会長や担当も変わるので毎年実施しても毎年新しいことになる。

能村: 自治連の集まりがあればそこでPRすると良い。

広瀬: 主催、共催に自治連といれるか。

石川：入れるようにする。

加藤：自治連に声をかけて代表者に来てもらう手もある。

岩元：自治連の防災もこの季節に会合があると思う。情報を得たらご挨拶できたら良い。

石川：参加対象については「自治会役員どなたでも」としたらどうか。

岩元：「必ずご出席して下さい。」とする。

大橋：お勤めしている方がいるので時間は 7 時～9 時で実施。前半は交流、後半は防災についての話をしてもらう。自治会役員どなたでも参加可能と募集をする。

(5)「認知症予防講座」

- ・7/20 の運営協議会で決まった内容

⇒ 年明けとする

⇒ 具体的にいつにしましょう？

大橋：次の会議で決めたい。

(6)「西砂ウインターイベント～冬休みも火曜日は学習館に行こう！～」

- ・冬休み期間で学習館が開館している日は、12/27（火）

- ・昼食は、立川産のお米の「おにぎり」と「豚汁」

⇒ 残金は、7,117 円

- ・講座・イベントの内容は？

- ・西砂川地区全体で実施するような枠組みで考えたい

⇒ 主催；西砂学習館運営協議会 / 共同、協力、協賛・・・

⇒ 幹事；西砂学習館運営協議会 / 運営・・・

- ・申込は抽選で行いたい

石川：昼食は、立川産のお米を頂ける予定。サマーイベントの残金 7,117 円があるので、これで豚汁やけんちん汁が作れるのでは思う。講師謝礼の予算は使い切ったが、全館で使える子ども対象予算が 1 万円残っている。お金のかからないイベントで皆が楽しめるものがあれば実施したい。申し込みは抽選申込をテスト的に行いたい。できれば西砂川地区全体で子どもの居場所作りをしていることを出せたらと思う。WestWave、社会福祉協議会、西砂児童館、地域学校コーディネーターと結集して試してみたい。まずは名前を借りるだけでも良いので、この地域の皆でやっているというイベントができたらと思う。

岩元：地域全体の枠組みでは良い。一番関わって欲しいのは、西砂川地区青少健。青少健は自治連、体育会、文化会を網羅して組織図の一番上にある。そこを外してはいけない。

大橋：ウインターイベントは実施する。内金崎委員からお話を頂いた。趣旨、目的をきちんとしないとイケない。子どもの居場所であれば、春休みも子どもの居場所は必要。地域で子ども達の居場所を支えようと委員全員が考えているかを確認したい。地域が広域の地域として、子どもの育成に関わる組織を作っていかなければと話した。最終的に手伝いがないと、地運協で実績もありやることは可能。とりまとめを考えると青少健と思う。委員長と十分に話をし、違う組織が動くことが意味のあることなのかと思う。子連に声がけも考える。組織を広げて何か実施ができる方向に行けばと思う。コーディネーターにも協力して頂けるのではと話もでていた。やるならば、協賛や共

同する組織を広げるのはどうか。

森：サマーイベントもゆくゆくは、チラシに、協賛のお知らせができれば、保護者も地域が支えてくれていると目にできて良いかと思う。冬に何か新しい試みとして 1 つ前に進められるならやるのが良い。

広瀬：タイトルは、別物で開催するので変えるのが良い。

小笠原：冬休みに親の立場で求めているのは、遊び場所と宿題場所。特に書初めと自由研究。学習館に拘らず、例えば、学習館で書初め教室、児童館では遊び場、西砂会館や天王橋会館、自治会館で何か少しずつ場所やイベントの提供をし、そこに子ども達がスタンプリーではないが、回れるイベントはどうかと考えていた。地域を巻き込むなら、将来的にはこのような方法もある。今年はその手前でどうするか考え中。

大橋：良いアイディア。協賛団体がある程度ないと難しいが、講座が多岐にわたり面白い。支援の人数、内容含めて、考えていかないといけない。

岩元：学習等共用施設も生涯学習の拠点の 1 つとなっている。

森：まずは学習館でやってみる。第 1 教室は書道、他の教室は別のイベント。青少健、WestWave、等地域の団体に各ブースお願いしスタンプリーのようにできる。

大橋：書初めは第 1 教室で、交代制での実施もできる。

小笠原：部屋がどの程度利用できるのか、サマーイベントの田中さんからの課題も気になる。部屋数が多くなると、子ども達のテンションはあがる。

大橋：12 月 27 日年の瀬にお手伝いに来てくれる人がいるのか。より広い範囲に声をかけないと人員が集まらない。

石川：頭に西砂川地区青少健を置く。どこまで他団体が協力にはいってくれるか。

大橋：昼食作りも地域の団体で地域の子ども達を育てているという活動になると良い。

岩元：長谷川委員が青少健の副委員長なので話が早いと思う。青少健の活動は、現状は松明祭りだけになっているので、お話をすると喜ぶかもしれない。

石川：子どもの為のイベントだが、協力する人を巻き込むことも兼ねて開催すると面白い。子どもよりスタッフメインになるかもしれないが、1 回限りなので試してみたい。

大橋：長谷川委員にお伝えする。

石川：PR は学校と地域の回覧だけにする。人気の事業になる可能性は高いので、チラシの配布は地域限定にする。

大橋：田中さんが話してくれた課題も解決しながら進めないといけない。

4 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

(2) 「地域学習館運営協議会交流会」について

- ・日程：11 月 25 日（金）午後 6 時～午後 8 時
- ・会場：西砂学習館（視聴覚室・第 1 教室）
- ・内容：学社一体 について
⇒ 具体的には？

石川：内容は「学社一体について」としたい。海野係長から 20 分程度レクチャーを受け、

共通認識を持ってからグループに分かれ意見交換を行い、交流の時間を入れる。グループでの意見交換は視聴覚室と第1教室を利用。各グループで話し、話した内容をまとめ、視聴覚室に戻り発表という流れ。各地運協で伝えたいことがあれば模造紙にまとめてもらい、視聴覚室に掲示しておくのはどうか。

広瀬：良い。各地運協の活動紹介をプログラムに入れるとそれだけで時間が終わってしまう。

大槁：「学社一体」の背景の話を海野係長にして頂き各グループで、地域学校コーディネーターや学校との連携について話していけたら良い。

岩元：西砂での実際の取り組みを10分位話せたら良い。

大槁：迷走している。迷走しているから交流会の内容を「学社一体」にしている。

岩元：試行錯誤はどこの館も一緒。迷走をシェアして、具体性がある話をしていきたい。

森：どのレベルの基準で迷走しているかを話すと、話し合うきっかけになるのでは。

岩元：この地運協なりに試行錯誤し、色々努力したことを話すことが大事。

森：悩みについて、皆さんはどうですかと投げかけると良い。

小笠原：文書で現状の問題提起を用意するのはどうか。本当は生の声であるのが一番良い。

石川：海野係長は概要や理念の話をする。活動していて困っていることが実際あるので、各グループで切り口を作るのが良い。

加藤：学社一体については西砂が先行して動いていて、皆その認識がある。西砂学習館の発表だけをしても良いと思った。

広瀬：何回も現状の説明はしたから今回は「学社一体」に絞るのが良い。

大槁：内容は代表者会議で伝えている。グループで討議して進めていく。

(3)「西一元氣通信 第7号」について

- ・10月1日発行

- ・内容 ⇒ 西砂サマーイベント（報告とお礼）、西砂ウインターイベント
ボランティアの方からのコメントを頂く

石川：10月に発行。冬のイベントは載せず、玉川兄弟の途中経過を載せる。

広瀬：各校長が変わったので挨拶は頂くか。

大槁：サマーイベントでのボランティアの声はもらった。若い人たちが地域の活動に興味を示して参加してくれたことに、感謝を申し上げながら伝えたい。支援者を広げる方向に発信が大事。

石川：サマーイベントを大々的に取り上げ、ボランティアのコメントを載せる。玉川兄弟の講座は10月に終わるが、途中経過を載せたい。

広瀬：学生ボランティアだけでなく、森さんや小林さんのコメントも頂き載せたい。

大槁：他館職員からのコメントも載せると良い。豊泉さんの記事を載せることは、講師の知識を1人でも多くの人に伝えていく、地運協の便りなのではと思う。

石川：次に豊泉先生の講座があったら真っ先に申し込むぞ、と思われる記事にしたい。

小笠原：親子塾と自治会防災講座の予告を載せると目に留まる。

(4) フリースペースについて（協議）

小笠原：再開の目途はまだたっていない。

(5) 各委員から報告及び連絡事項（報告）

加藤：9月25日西砂学習館で市民交流クッキングがある。西砂学習館で3回目実施している。来週からは森委員が講師でパソコン講座 Word 入門がある。

広瀬：老人会は9月まで休み。昭和ゴルフ場の開発について。西砂小の通学の問題もあり、無関心ではいけないと思っている。

内金崎：9月24日「終末期医療の実情と備え」をAIMで実施予定。在宅医療の権威である講師に終末期医療についてお話。

小笠原：9月は地域交流会を例年行っているが今回も対面での交流会は中止になった。行事等、子どもの活動制限は解除されてきている。10月30日ハロウィン、11月23日市内対抗ドッジボール大会を予定。ドッジボール大会は5連覇がかかっている。西砂小からのエントリーがかなりきている。

岩元：文化会は地域の文化祭は中止を決めた。立川市文化協会の文化祭は行う。今年もバレー公演、展示、来年は講演を行う予定。去年の西砂川地区からの展示は沢山の参加があった。今年も昨年の方にはお声がけする。バレー公演は地区の関りはあまりない。

小林：サマーイベントでは皆さんの協力があり調理は時間内に終わり、嬉しかった。フリースペースについてはいつも頭にあり、どうなっていくか気がかり。

森：パソコン倶楽部は毎週火曜日に活動している。来週は市民企画のパソコン講座 Word 入門を控えている。

能村：講座情報誌「きらり・たちかわ」秋号発行。「立川の戦争展示」巡回展について、市川さんのインタビュー、感想ノートの一部等を紹介している。学習館探訪「西砂学習館」は春号に掲載。

俣本：サマーイベントが無事に終わりほっとしている。これからは秋と冬に向けてのイベントの準備を行う。9寿合同芸能フェスティバルは、今年度は実施ができる。

田中：サマーイベントでの工作の作品が余分にあるのでお一つお持ちください。

石川：学習等共用施設にもWi-Fiが入る予定。学習館では次の段階として、リモート講座、オンライン会議のマニュアルを作っているところ。

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、10月6日（木）

<配布資料>

- ・〈資料1〉令和4年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和4年度地域活性化講座（案）
- ・地域の再発見・地元を学ぼう！「玉川上水の謎」座学資料
- ・地域の再発見・地元を学ぼう！「玉川上水の謎」散策の地図（羽村の堰・清流の復活）
- ・地域の再発見・地元を学ぼう！「玉川上水の謎」集合場所
- ・地域学習館運営協議会交流会の開催について（通知）【案】
- ・立川市地域学習館運営協議会報告書（第6期）